

データ連携で経営が変わる

国税庁の掲げる税務行政のデジタルトランスフォーメーション(DX)のなかで、'23年に追加された“事業者のデジタル化促進”は、税務処理も含め一貫して効率的にデジタル処理できる環境を整備することです。さまざまな業務システムが隆盛するなか、課題も浮上していますが、その必要性を具体的な事例でご紹介します。

FA分野の自動化設備の製造を中心に、画像処理技術を生かし検品を自動化する外観検査装置に力を入れている**ミツテック株式会社**(兵庫県淡路市)。そんな業態に連動するように、本格的な管理業務の自動化に乗り出したのは2024年です。

システムを「全部つなげる」

創業から変わらぬ主力業務は、電気自動車に使用される2次電池製造ラインの設計・製作。ここ10年来、電気自動車の隆盛で、年商や従業員数が増加し、管理業務の煩雑さが高まっていました。

同社の管理業務はシステムごとに分断されていました。そこで、自社開発の基幹システムを新しい他社製造システムにかえ、会計ソフトと連動しました。これは、旧システムでもやっていたので仕訳データを取り込むことは容易にできました。

数年前に導入した経費精算システム「楽楽精算」との流れは整備されたものの、いくつかの課題が残されました。基幹システムとの連携です。基幹システムから吐き出されたCSVデータを会計システムに取り込むとき、消費税が両システム間でズレたのです。試行錯誤を繰り返し、何とか正確な会計処理へと変換できる仕組みが完成しました。「以前は、集計作業や再入力が必要でしたが、それがなくなり、結果としてミスの発生リスクが大幅に低減しました。」



DX化は、**ヒューマンエラーのリスクを激減**させ、**業務効率を上昇**させるだけでなく、**経営判断の精度向上**にも直結するということです。

本業の「自動化する」発想で改革

“何かを自動にすると誰かが自由になれる。その技術の可能性を淡路島から未来につなぐ”がミツテックのパーパスです。この改革は、ミツテックの文化とも言えます。人手を減らしながら精度を高める・・・製造現場と同じ思想が経理業務にも適用されたわけです。現在、ミツテックは主業務の2次元電池製造ラインの設計・製作からの脱却を目指しています。従来のメカトロ技術に、カメラ・照明・AI・検査ソフトを活用したビジョン技術を融合したハイテク企業へ舵をとりつつあります。

わずか2年で管理部門のデジタルシームレスを実現したミツテックの機動力には脱帽です。

～戦略経営者2026年7月号より～

桐生相続相談室

<8/4(火)・10(月)・22(土)・29(土)>

相続税の無料
シミュレーション実施中！

無料相談会

相続または相続対策、自社株式対策についてご相談ください。
友人、知人の方でもご相談対応させていただきます。
お気軽にお声がけください。

0277-45-2160

DX化で事業者のメリットは?!

デジタル化で事業者の取引から経理、税務申告・納付までの一連の業務をシームレスにすることで、帳簿や申告の精度が自ずと向上します。もちろん、データ連携を構築するまで時間もお金もかかりますが、これを一気に通貫できれば、人手の削減、ミスの減少、業務工数の減少、ペーパーレス化といった効果が得られます。

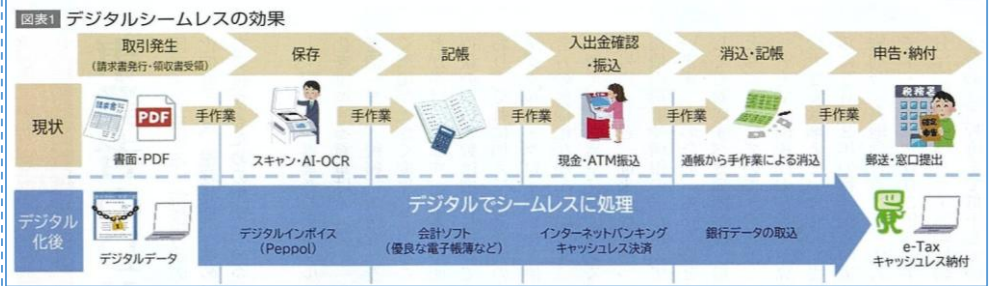
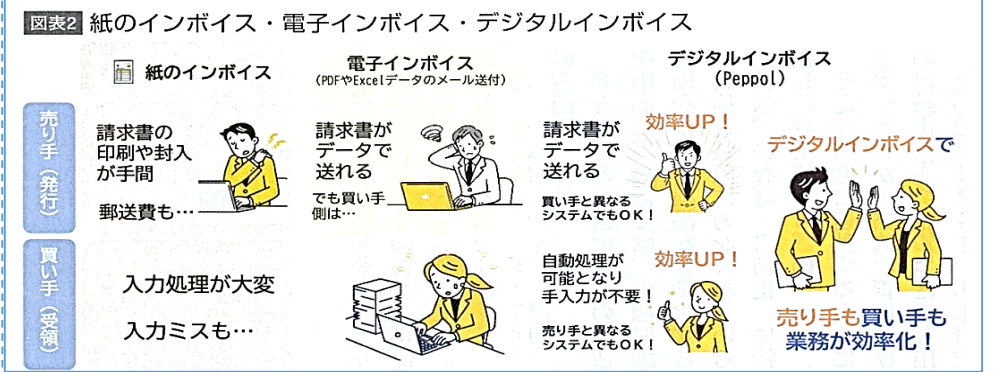


図1のように、完全な電子化には、基幹システムとの連携やデジタルインボイスの取得等、時間のかかる作業が山のようにあります。それでも、ダイレクト納付を始めている方は、その便利さや時間の効率化を実感されているのではないのでしょうか？それが、日々頭を痛めている会計・経理業務全般に対応できるとなれば、大きなメリットとなるのは間違いありません。



将来的にデジタル化が不可避である以上、デジタル化・AI導入補助金や税制優遇などの支援体制が整いつつある今、取り組む環境としては良いタイミングです。初期導入には一定の手間とコストがかかりますが、一度整備すれば効率化効果が継続的に得られます。

～顧問先のご紹介～

丹羽モータース 丹羽 康之 様

～ 広沢町4丁目の50号高架側、ホットランド様の隣です ～

現在、三代目も加入して
パワーアップした
昔ながらの修理工場です。
車は消耗品です。
マメな整備が寿命を延ばします。

お気軽にどうぞ！

新車・中古車も
ご相談ください

丹羽モータース

376-0013
群馬県桐生市広沢町4丁目2342-2
電話 0277-54-1748